

ボッシュ株式会社

電動工具事業部

ホームページ : <http://www.bosch.co.jp>

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前 9:00~午後 6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 27Y

1 609 92A 27Y (2016.01)

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

クロスラインレーザー Quigo Plus



BOSCH

取扱説明書

このたびは、弊社クロスラインレーザーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。



目 次

●安全上のご注意.....	3
警告表示の区分	3
●使用上のご注意.....	11
●お手入れと保管.....	14
廃 棄	15
●本製品について.....	16
用 途	16
各部の名称	17
仕 様	18
標準付属品	19
●使い方.....	20
作業前の準備をする	20
作業する	22
アクセサリーを使用する	27

●困ったときは.....	37
故障かな?と思ったら	37
修理を依頼するときは	38

安全上のご注意

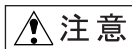
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡ししてください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

本機はレーザー光を照射します。レーザー安全基準のクラス2に準拠していますが、以下に記載する内容には十分に注意してご使用ください。



警 告

1. レーザー光を光学機器で直接見ないでください。

望遠鏡や双眼鏡、ルーペなどでレーザー光を見ると視力に影響を及ぼす場合があります。

2. 異常を感じたら絶対に使用しないでください。

- ◆ 使用中に異常が疑われるときには、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検を依頼してください。

3. レーザー光を直接のぞいたり、人や動物に向けたりしないでください。

- ◆ 本機はレーザークラス2 (EN60825-1 準拠) のレーザー光を発光します。離れた場所からでも、レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。

4. レーザー光路は眼の高さを避けてください。

レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。

5. レーザー光路には立ち入らないでください。
 - ◆ 使用者以外はレーザー光路に立ち入らないようにしてください。
6. レーザー光路に反射物を置かないでください。

レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。
7. 分解、改造は絶対にしないでください。
 - ◆ 故障、修理の場合は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申しつけください。
8. 使用者にレーザー光による視力障害が疑われる場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
9. 取扱説明書に記載された使用方法に従って使用してください。

10. 取扱説明書およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアクセサリー以外は使用しないでください。

11. レーザーメガネを保護メガネとして使用しないでください。

レーザーメガネはレーザー光の視認を助けるものであり、レーザー光から目を保護するものではありません。

12. レーザーメガネをサングラスとして使用したり、道路交通上で着用したりしないでください。

レーザーメガネでは紫外線からの完全な保護はできません。またレーザーメガネは色の認識力を低下させます。

13. 測定を行う場合は安全な測定場所を確保してください。

◆ 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では使用しないでください。本機から火花が発生し、粉じんや蒸気に引火する恐れがあります。

14. レーザー光が他人や自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。

- ◆ レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。

15. レーザー光が自分の目に当たったときは、すぐに目を閉じ、レーザー光から顔を背けてください。

- ◆ レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。

16. 電源を“ON”にしたまま放置しないでください。

- ◆ レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。

17. 本機をペースメーカーの付近で使用しないでください。

- ◆ マグネットにより磁界が発生し、ペースメーカーの機能に障害をきたす恐れがあります。



18. 本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
19. 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、本機に破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。
20. 本機を湿気の多い場所や直射日光の当たる場所に、放置しないでください。
21. 使用しないときは、きちんと保管してください。子供の手の届かない安全な場所に保管してください。



注 意

1. 使用しないときは乾電池を取り出してください。
取り出さないと、液漏れをして故障の原因となります。
2. 乾電池を火中へ入れたり、充電をして使用しないでください。
3. 使用者への安全教育について
 - ◆ レーザー光の性質、危険性などについて、十分ご理解のうえご使用ください。
4. 子供を近づけないでください。
 - ◆ 目の届かない場所で子供に本機を使用させないでください。
5. 本機を磁気データ媒体や磁気に敏感な装置に近づけないでください。
 - ◆ マグネットの作用により致命的なデータ消失につながる恐れがあります。

使用上のご注意



注 意

1. +5℃～+40℃の環境で使用してください。

上記環境外では精度不良や、レーザー光が照射しない場合があります。

2. 次のような場所には置かないでください。

精度不良や故障の原因になります。

- ・ 直射日光があたるところや暖房器具の近くなど高温になるところ
- ・ 冬場の屋外など低温になるところ
- ・ ダッシュボード、トランク、荷台や直射日光下で窓を閉め切った車内
- ・ 急激な温度変化のあるところ
- ・ 磁気を帯びたところ
- ・ ほこりの多いところ
- ・ 湿気の多いところや漏れたところ
- ・ 振動が多いところ

3. 結露したまま使用しないでください。

4. 故障したまま使用しないでください。

- ◆ 故障しているときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理をお申しつけください。

5. 雨や水にぬらさないでください。

精度や寿命が低下し、故障の原因になります。

6. 本機を移動させるときは電源スイッチを切って運んでください。

7. 照射口には触れないでください。

照射ラインの精度不良の原因になります。

8. 保管する場合は専用ケースに入れてください。

専用ケースに入れないと、湿気やほこりで故障の原因になります。

9. 使用前に、本機に損傷がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、本機に損傷がないか十分に点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

10. 点検は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申しつけください。

点検の知識や技術のない方が点検しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

お手入れと保管

- 本機を保管・運搬する際には、必ず付属のケースに収納してください。
- 本機はきれいな状態を保ってください。
- 本機を水中やその他の液体中に入れないでください。
- 汚れは湿ったやわらかい布で拭き取ってください。洗剤や溶剤は使用しないでください。

廃 棄

本機の廃棄処分は各地域の行政が指導する方法に従って適切に処分してください。

本機を不適切に廃棄処分すると、以下のような問題が起きる恐れがあります。

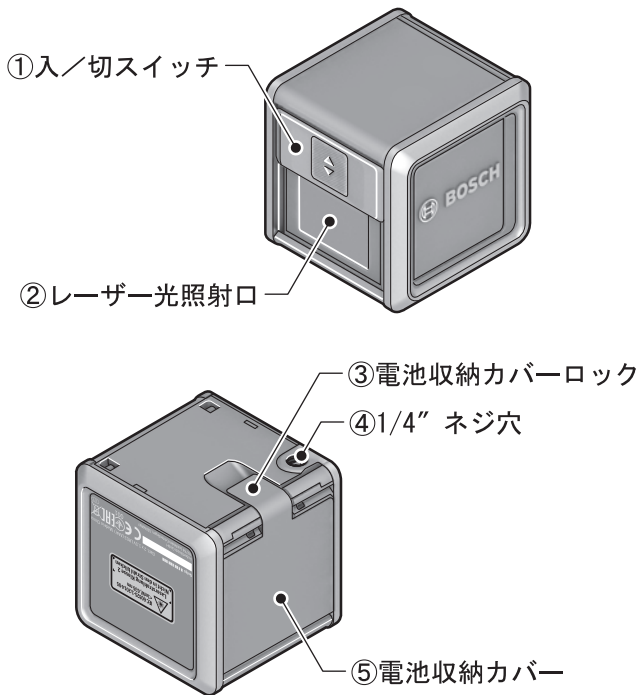
- プラスチック部品を燃やすと、有毒ガスが発生し、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 電池が損傷したり、加熱され爆発したりすると、毒物の発生、火傷、腐食、火事あるいは環境汚染の原因となる場合があります。
- 本機を無責任に廃棄処分すると、製品知識の無い人が規定を守らずに使用する恐れがあります。そのため自分自身だけでなく第三者も重症を負ったり、環境汚染を起こす場合があります。

本製品について

用 途

- ◆ 壁面での水平・垂直ラインの確認（ポスターなどの貼り付け位置決め）
- ※ 室内での測定に適しています。
- ※ 本機はDIY 商品です。建築用途にはご使用になれません。

各部の名称



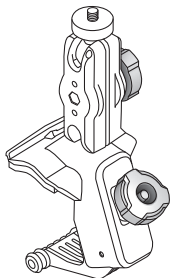
◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

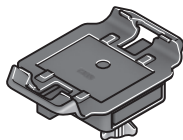
品 番	Quigo Plus (3 603 F63 650)
レーザー	635mm<1mW クラス 2
使用距離 ¹⁾	7m
精 度	水平・垂直±0.8mm/m
自動補正範囲	±4°
使用温度範囲	+5℃～+40℃
保管温度範囲	-20℃～+70℃
最大相対湿度	90%
発散角	0.5mrad (全角)
電 源	単 4 アルカリ乾電池 2 本
連続使用時間	約 5 時間
質 量	270g (電池含む)
寸法 (長さ×幅×高さ)	65×65×65mm

- 1) 使用距離は、測定に不利な環境下（強い直射日光が当たるなど）では、短くなります。
- 2) レーザー光径は、表面特性および使用環境に依存します。

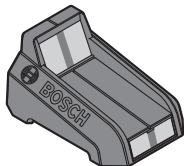
標準付属品



マルチマウントクリップ



アダプタープレート



ターゲットプレート

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

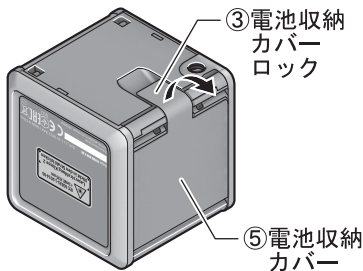
作業前の準備をする

● 電池を取り付ける・取り外す

取り付け

 アルカリ乾電池を使用してください。

1. 電池収納カバーロック③を矢印の方向に引いて、電池収納カバー⑤を外します。



2. プラス（+）極・マイナス（-）極の向きを電池収納部内のマークに合わせて、電池をセットします。

3. 電池収納カバー⑤を取り付けます。
4. 電池収納カバー⑤が確実に取り付けられているか、確認します。

 電池の残量が少なくなると、レーザー光がゆっくり点滅（3秒点灯、1秒消灯の繰り返し）します。

 電池を交換するときは、必ずすべての電池を交換してください。異なったメーカーの電池を同時に使用したり、アルカリ乾電池と充電式ニッケル水素電池を同時に使用したりしないでください。

 長期間使用しない場合は、本体から電池を取り外してください。長期間、電池を入れたまま使用しないと、電池が腐食、放電することがあります。

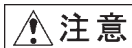
取り外し

1. 電池収納カバーロック③を矢印の方向に引いて、電池収納カバー⑤を外します。
（取り付けのイラスト参照）
2. 電池を取り外します。
3. 電池収納カバー⑤を取り付けます。
4. 電池収納カバー⑤が確実に取り付けられているか、確認します。

作業する



- ◆ レーザー光を直接のぞかないでください。
- ◆ レーザー光が他人や動物、自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。
- ◆ 電源を“ON”にしたまま、放置しないでください。



- ◆ 本機を水分や直射日光から保護してください。
- ◆ 極度に温度の高いまたは低い環境、極度に温度変化のある場所では使用しないでください。
車の中などに長時間放置しないでください。周囲温度が急激に変化した場合、本機を周囲温度に順応させてからスイッチを入れてください。極度に高いまたは低い温度、または極度な温度変化は精度を低下させることがあります。
- ◆ 本機に強度な衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。
精度を低下させることがあります。
強い衝撃を与えてしまったときは、既知の水平または垂直基準線とレーザー光を比較して、精度を確認してください。



測定するときは、レーザー光照射口②に何も被さっていないことを確認してください。

1 本体を水平な場所に置く

本体は、水平で堅い面の上に置くか、マルチマウントクリップまたは三脚に取り付けて設置してください。

2 電源を入れる

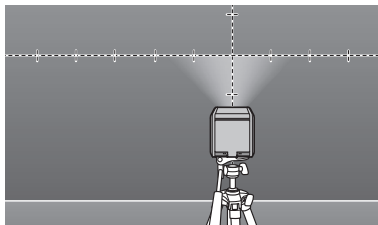
「入／切スイッチ①」を上スライドさせると電源が“入”になります。

電源が“入”になると、レーザー光が 3 回点滅照射されます。

自動補正

電源が“入”になると自動でレベル出しを行い、レーザーラインの水平・垂直方向を補正します。

レーザーラインが動かなくなったら、補正完了です。



本体が4°以上傾いていたり、本体を手で保持していたりすると自動補正できません。

自動補正できなかった場合、レーザー光は照射されなくなります。

その場合、下記の手順でやり直してください。

1. 電源を“切”にする。
「入／切スイッチ①」を下にスライドさせると電源が“切”になります。
2. 本体を堅い面に置き直すか、マルチマウントクリップや三脚を使用して設置し直す。
3. 電源を“入”にする。



作業中、本体が振動したり動いたりすると、再度自動補正されます。

再度自動補正されたときは、作業を開始したときの基準点とずれていないか確認し、ずれている場合は、基準点を合わせてください。

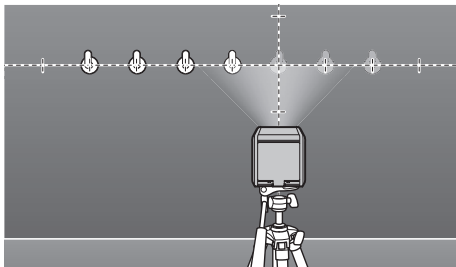
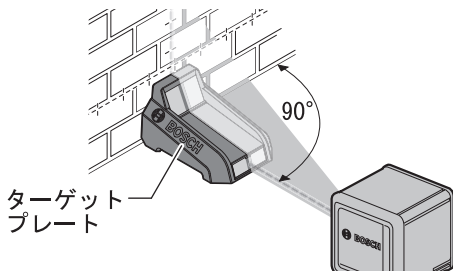
3 作業する

照射されたレーザーラインを基準に、作業します。
レーザーラインの幅は、本体から壁の距離によって異なります。
レーザーラインの中心を基準に作業してください。

レーザーラインのマーキングを使用した作業

マーキングの間隔は、本体と壁の距離によって変わります。
また、マーキングの間隔は、本体が壁に対して直角に設置されている場合にのみ等しくなります。
本体の直角度は、ターゲットプレートを用いて、確認・調節します。下記の手順で確認・調節してください。

1. 作業する壁に、ターゲットプレートの背を当てます。
レーザーラインが、ターゲットプレート中心線上を
通っていれば、本体は直角に設置されています。
2. レーザーラインが、ターゲットプレート中心線上を
通っていない場合は、レーザーラインがターゲット
プレート中心線上を通るように、本体の向きを調節
します。



☞ 本体の位置を変更したときは、再び直角を確認・調節してください。

4 電源を切る

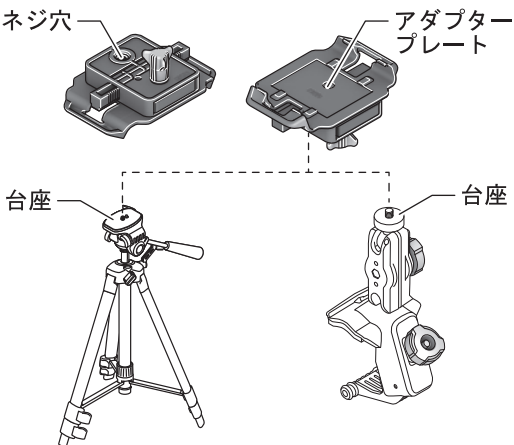
「入／切スイッチ①」を下にスライドさせます。

アクセサリーを使用する

● アダプタープレート（標準付属品）を取り付ける

アダプタープレートをマルチマウントクリップまたは三脚に取り付けておくと、本体の取り付け取り外しが早く行えます。

アダプタープレートの裏側にある 1/4" ネジ穴をマルチマウントクリップまたは三脚の台座のネジに合わせ、アダプタープレートを回して取り付けます。



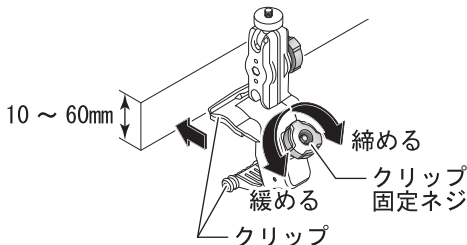


マルチマウントクリップ（標準付属品） を使う

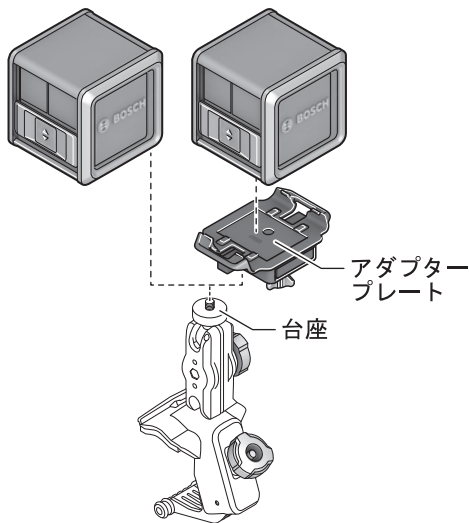
マルチマウントクリップを使用すると、パイプや板など任意の場所に本体を固定できます。

クリップで挟める物の寸法は 10～60mm です。

1. クリップ固定ネジを反時計方向（左回り）に回してクリップを緩めます。
2. 任意の場所をクリップではさみます。
3. クリップ固定ネジを時計方向（右回り）に回してクリップを締めます。



- マルチマウントクリップが確実に取り付けられているか確認します。
- 本体を取り付けます。



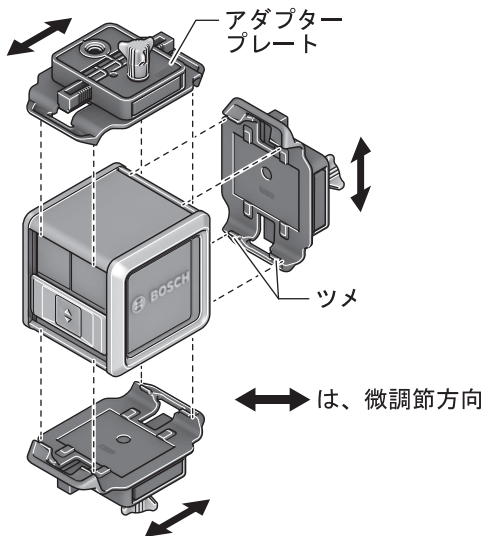
マルチマウントクリップに直接本体を取り付ける
台座を持ちながら、本体の 1/4" ネジ穴④を台座のネジに合わせ、本体を回して取り付けます。

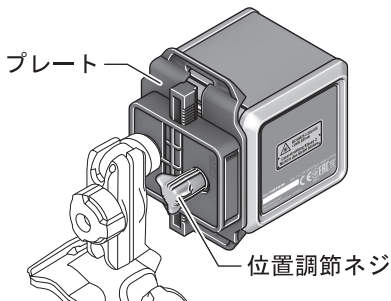
アダプタープレート（標準付属品）を使用して本体を取り付ける

本体は、背面、上面、下面の3箇所でアダプタープレートに取り付けることができます。

本体をアダプタープレートに押し込むようにして取り付けます。

アダプタープレートのツメが本体の淵に引っ掛かり、確実に取り付けられていることを確認してください。



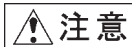


アダプタープレートを使用すると、本体の位置を微調節することができます。

本体の背面をアダプタープレートに取り付けた場合、本体の位置を上下に微調節することができます。

本体をアダプタープレートの上面または下面に取り付けた場合、本体の位置を前後に微調節することができます。

位置を微調節するときは、位置調節ネジを回して緩め、プレートを移動させます。位置が決まったら、位置調節ネジを回して締め付けます。

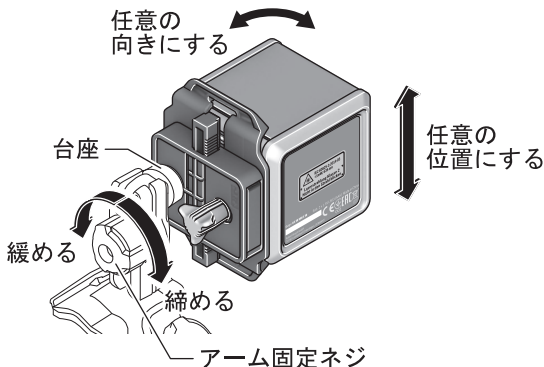


注意

◆ アダプタープレートを回して、本体の位置や向きを変えないでください。

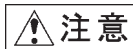
アダプタープレートを回して調節すると、アダプタープレートごと本体が落下する恐れがあります。

6. マルチマウントクリップに本体が確実に取り付けられているか確認します。
7. 本体を持ちながらアーム固定ネジを反時計方向（左回り）に回して、アームを緩めます。
☞ アームとクリップとの連結部分とアームと台座との連結部分が同時に緩みます。



8. アームと本体を任意の位置、方向にして、アーム固定ネジを時計方向（右回り）に回して固定します。
9. アームが確実に固定されているか確認します。

10. 測定します。（22 ページ「作業する」参照）



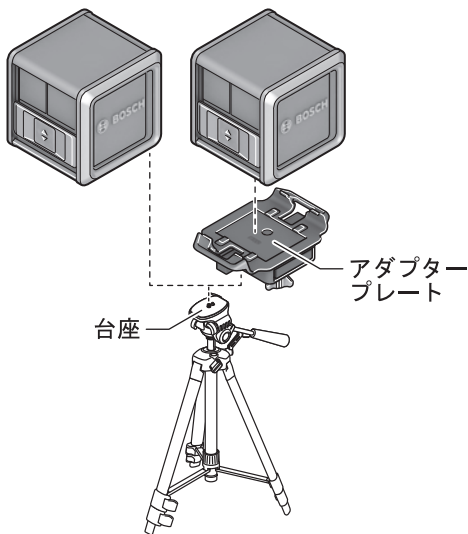
- ◆ 固定した本体とマルチマウントクリップを無理に動かすと、固定ネジに遊びが出て固定できなくなります。本体などの位置を少しでも変えるときは、必ず各固定ネジを緩めてから動かしてください。

 本体の傾斜が 4° 以上の場合、レーザー光は照射されません。

● 三脚（別売）を使う

三脚を使用すると、高さ調節が安定して行えます。

1. 本体を取り付けます。



三脚に直接本体を取り付ける

台座を持ちながら、本体の 1/4" ネジ穴④を台座のネジに合わせ、本体を回して取り付けます。

アダプタープレート（標準付属品）を使用して本体を取り付ける

本体をアダプタープレートに押し込むようにして取り付けます。

アダプタープレートのツメをが本体の淵に引っ掛け、確実に取り付けられていることを確認してください。

2. 三脚の高さを調節します。
3. 測定します。（22 ページ「作業する」参照



レーザーメガネ（別売）を使う



- ◆ レーザーメガネを保護メガネとして使用しないでください。レーザーメガネはレーザー光から目を保護するものではありません。
- ◆ レーザーメガネをサングラスとして使用したり、道路交通上で着用したりしないでください。
レーザーメガネは、紫外線から目を保護するものではありません。また、レーザーメガネは色の認識力を低下させます。

レーザーメガネを使用すると、レーザーの赤色光線がより明るく見えます。

困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
レーザー光が照射されない	電池の入れ方が間違っている	電池を正しく入れる
	電池が消耗している	電池を交換する
	本体が 4° 以上傾斜している	本体を 4° 以内の水平にする

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな？と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル

 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前 9 : 00～午後 6 : 00

※携帯電話からお掛けのお客様は、

TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。コールセンター
フリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ

<http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター

西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407